

## まちづくり協議会 運営・活動にあたっての6つのキーワード

1

自分たちのまちは  
自分たちでつくる！  
【自主性・主体性】

- ◇ 地域のいいところや課題は、その地域に住んでいる人が一番よく知っています。地域のみんなの「こうしたい！」「やってみよう！」の想いを大切に、さまざまな資源（ひと・もの）を活かしながら、課題の解決や魅力アップに取り組んでいきます。
- ◇ 地域だけでできないことは、行政と力を合わせながら取り組んでいきます。



2

小学校区を  
単位の活動する！  
【区域】

- ◇ 防犯、防災、環境美化、子育て支援、介護予防、文化振興、地域活性化など、総合的なまちづくりに取り組んでいくためには、多くの人・団体の力を合わせていく必要があります。
- ◇ そこで町よりも大きな、ある程度の人口規模を持った「小学校区」を単位の活動をしています。

3

みんなのために  
みんなで取り組む！  
【構成員】

- ◇ まちづくり協議会は、小学校区内に住んでいる人を対象に、事業・活動を行っています。
- ◇ 小学校区内に住んでいる人、働いている人、学んでいる人、事業・活動を行っている人・団体であれば、誰でもまちづくり協議会の活動に関わることができます。



4

みんなで知恵や力を  
少しずつ持ち寄る！  
【多様性】

- ◇ 地域には、住んでいるまちをよりよくしようと思って、活動している人・団体がたくさんあります。
- ◇ 男性も、女性も、子どもも、若い人も、高齢者も、多くの人や団体が少しずつ力を持ち寄り、それぞれの持ち味を活かしながら活動に取り組んでいくことによって、「いつまでも住み続けたいまち」の実現につながっていきます。



5

想いを共有し  
ルールに基づいて  
運営・活動する！  
【民主性】

- ◇ 役員の選び方、話し合いや物事を決める場合などのルール（規約）を定め、ルールに基づいて運営・活動をしています。
- ◇ 地域の皆さんと「住んでいる地域をこうしていきたい！」という想いや目標の共有を意識しながら、運営・活動をしています。



6

誰が見てもわかりやすく！  
情報共有を大切に！  
【透明性】

- ◇ 地域への関心・愛着を高め、活動に参加する人を増やしていくため、活動の内容・効果などをさまざまな手段で発信していきます。予算の使い方についても、わかりやすく説明できるようにしていきます。
- ◇ 情報の受信も重要。地域の魅力の掘りおこしを行ったり、住んでいる皆さんの想いをくみ取り、活動に取り入れていくことも大切にしていきます。

